



「情報セキュリティ10大脅威 2018」が決定 (2018年2月16日)

■「情報セキュリティ10大脅威 2018」

NEW: 初めてランクインした脅威

昨年順位	「個人」の10大脅威	順位	「組織」の10大脅威	昨年順位
1位	インターネットバンキングやクレジットカード情報の不正利用	1位	標的型攻撃による情報流出	1位
2位	ランサムウェアによる被害	2位	ランサムウェアによる被害	2位
7位	ネット上の誹謗・中傷	3位	ビジネスメール詐欺 NEW	ランク外
3位	スマートフォンやスマートフォンアプリを狙った攻撃の可能性	4位	脆弱性対策情報の公開に伴い公知となる脆弱性の悪用増加	ランク外
4位	ウェブサービスへの不正ログイン	5位	セキュリティ人材の不足 NEW	ランク外
6位	ウェブサービスからの個人情報の窃取	6位	ウェブサービスからの個人情報の窃取	3位
8位	情報モラル欠如に伴う犯罪の低年齢化	7位	IoT機器の脆弱性の顕在化	8位
5位	ワンクリック請求等の不当請求	8位	内部不正による情報漏えい	5位
10位	IoT機器の不適切な管理	9位	サービス妨害攻撃によるサービスの停止	4位
ランク外	偽警告 NEW	10位	犯罪のビジネス化 (アンダーグラウンドサービス)	9位

あさま補足コメント

- ... 巧みな日本語でメール受信者を信じ込ませ、被害にあつて初めて気づくことも (企業規模問わず、情報搾取)
- ... 中小企業での被害報告多数、顧客データ損失により業務停止データバックアップ方法のご確認を
- ... JALのニュースで話題に。巧妙に細工したメールやりとりで担当者を騙し、攻撃者の用意した口座へ送金させる。前準備としてウイルス等で、企業内の従業員の情報を搾取していることも
- ... 日々公開される脆弱性の情報をもとに、その脆弱性を狙った攻撃脆弱性が対策される前に攻撃、未対策の機器への攻撃
- ... すべての組織にセキュリティ人材を置けるわけでないため、対策が不足、できていないところは、被害にあうリスクが高い
- ... WEB上で登録した個人情報が入っているシステムを攻撃すれば、多数の個人情報やクレジットカード情報を盗める
- ... 攻撃者の対象はパソコンに限らず、ネットにつながるすべての機器が対象、IoT機器の脆弱性対策まで管理が行き届きにくい
- ... 従業員・元従業員による、私怨や金銭目的等の個人的な利益享受のため、外部に情報流出。対策・規定の見直しを
- ... 攻撃対象のサイトをダウンさせるため、多数PCやIoT機器を乗っ取り一斉に攻撃の指示を出している
- ... ネット犯罪は簡単、効率がよく、足がつきにくい
ネット犯罪ツールが売買されており、専門の知識がなくても興味本位で誰でもウイルス等作成できてしまう

出典 IPA 情報セキュリティ10大脅威 2018
<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/10threats2018.html>



サイバー犯罪は常に進化！
 知らぬ間に被害にあっていた、加害者になっていたということにならないよう、
 今一度セキュリティ対策のご確認を！！

対策

➤ 知る (脅威、手口、ニュース、被害の実態等)

- ・IPA (社員教育用資料や動画、企業で取り組むべきセキュリティガイドライン等掲載) <https://www.ipa.go.jp/>
- ・フィッシング対策協議会 (最新の脅威に関するニュースが豊富) <https://www.antiphishing.jp/>
- ・日本サイバー犯罪対策センター JC3 (最新のウイルスメールなど実例まで紹介) <https://www.jc3.or.jp/>

➤ 最新化 (OS、ソフト、バージョン等を最新の状態に保つこと)

➤ 多層防御 (システム利用、専用端末化、バックアップ等)

➤ 自社で対策が難しい、何から始めたらいいかわからない場合、信頼できるセキュリティアドバイザーへご相談を！

情報源

IPA <https://www.ipa.go.jp/security/vuln/10threats2018.html>